

Rebirth

ずっと 歌い続けたい。。

だからこそ

もう一度

生まれ変わるつもりで育ててみよう

私の楽器を

私の歌を

ずっと 変わらない思いを

ずっと 届け続けていきたいから。。

松岡理枝

Rie Matsuoka

Soprano



小学5年生より中学3年まで横浜少年少女合唱団に所属。フェリス女学院短期大学音楽科声楽専攻卒業。同学専攻科および研究科修了。二期会オペラスタジオマスタークラス修了。1987~88年「響け、歌おう、童謡日本」(主催：朝日新聞・全国主要都市にて開催)にレギュラー出演。1998年東宝ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」(日生劇場)に修道尼役、1999年二期会オペラ(ワグナー作曲)「タンホイザー」(新国立劇場)に牧童役にて出演他、数多くのコンサートに出演。2001年より、NPO法人ポップ・ライフ・ジャパンの正会員として「大地のコンサート」(横浜市港南区民センター「ひまわりの郷」)を、5年間に渡り毎月開催。演奏だけでなく、企画、制作の全般に携わる。2002年、2005年「未来派コンサート」(王子ホール)を企画・出演し、電子オルガン・ロックアーティスト・モダンバレエ等とのコラボレーションを試みる。一方、2006年より携わったミュージカル公演「森は生きている」「ロックン・ジャム・ミュージカルII再演」「SEMPO」における歌唱指導の経験から、ヴォイストレーナーの重要性を感じ、2009年には、ヴォーカルスタジオ・パールの主宰として設立。ミュージカル女優、ジャズシンガー、舞台俳優等のプロやステージに立つことを目指す学生を含め、幅広いジャンルのヴォイストレーニング・レッスンをを行っている。

近年では、ロックアーティスト吉川晃司氏のパーソナル・ヴォイストレーナーとして、ライブツアー等でサポートに携わっている。

ソロリサイタルは、1993年に初回開催して以来、今回が7回目となる。二期会会員。女声合唱団「コーロ・ヨコハマレ」ヴォイストレーナー。

名取かほり

Kahori Natori

Piano



東京音楽大学付属高校、東京音楽大学ピアノ科、同大学研究科ピアノ伴奏者コース修了。在学中、ヤングアーティスト・ピアノコンクール金賞、その他受賞多数。これまで東京音楽大学付属音楽教室専属伴奏員を務める他、NHK東京児童合唱団ピアニストとしては、ヨーロッパ演奏旅行に同行し、ハンガリーコダーイフェスティバル、オーストリアリヒテンターラ夏の音楽祭、ラトビアリガ・フェスティバルなどに出演。また第81回日本音楽コンクール声楽部門(歌曲)においては入賞者のピアニストを務め、歌手の感性に寄り添う献身的なサポート、と好評を得る。声楽、器楽におけるリサイタルの共演者、各種コンクールや講習会、合唱団、オペラ団体等のピアニストとして広く活動している。

佐竹敬雄

Norio Satake

Bass



武蔵野音楽大学卒業、同大学院音楽研究科修了。JILA音楽コンクール声楽部門第1位、レス・ブレンデル音楽コンクール声楽部門第2位(1位なし)をそれぞれ受賞。「ドンカルロ」フィリッポ2世、「シモンボッカネグラ」フィエスコ、「マクベス」バンコ、等のヴェルディのバス役をはじめ、韓国国立オペラハウスに於けるISCM「世界現代音楽祭」、国際音楽の日フェスティバル in 東京、東京文化会館リニューアルオープン記念公演原嘉壽子「脳死をこえて」、モーツァルト「フィガロの結婚」、「コジ・ファン・トゥッテ」、新星日本交響楽団「魔笛」、ヴェルディ「トロヴァトーレ」、チマローザ「ロンドンのイタリア女」(日本初演)、李 演国「人は知らず」(オペラ初演)、姜 碩熙「超越」(世界初演)、フィッツナー「クリスマスの妖精」(日本初演)、オッフェンバック「天国と地獄」、ブリテン「カーリヤー・リバー」、「真夏の夜の夢」、ヒンデミット「往きと復り」等でオペラ出演の他、バッハ「カンタータ」、モーツァルト「ミサ・プレヴィス」、「ミサ・ロンガ」、「レクイエム」、フォーレ「レクイエム」等の宗教曲やベートーヴェン「第九」のソリストとしても数多く出演している。

また、シューベルト、ブラームス等のドイツ歌曲のコンサートに出演する一方、現代の日本歌曲の新作の初演にも積極的に取り組み、JILAレーベルより発売のCD「20世紀日本歌曲の潮流V」「21世紀日本歌曲の潮流VI, VII」に収録されている。

現在、二期会会員、東京室内歌劇場会員、国際芸術連盟会員。

ルーテル市ヶ谷ホール (ルーテル市ヶ谷センター内)
東京都新宿区市谷砂土原町1-1 各線市ヶ谷駅下車
東京メトロ 有楽町線/南北線5,6番出口 徒歩2分
JR総武線 地上出口/都営地下鉄新宿線A1出口 徒歩7分

